

新緑を愛で、山菜採りを楽しんだ

恒例の氷ノ山山行

2017年5月27日～28日

<参加メンバー> 9人(男性5人、女性4人)

<天候> 5/27曇り一時雨 5/28 晴れ

<コースタイム>

5/27 JR宝塚駅前8:00集合 中国道・舞鶴道・北近畿豊岡道経由～ハチ高原12:00(山菜採り)14:00～氷ノ山国際スキー場(テント設営)14:20～慰霊碑へお参り(15:00～17:00)

5/28 5:00起床7:15発～親水公園7:45～地藏堂8:50～氷ノ山越10:05～氷ノ山頂上11:20～神大ヒュッテ12:00～東尾根避難小屋13:13～東尾根登山口13:45～温泉～宝塚19:00

<山行の概要>

新緑の氷ノ山山行は北摂山の会発足以来継続して取り組んでいる。兵庫県で最も自然の豊かな山であり、山菜採りやブナなどの新緑の素晴らしさを味わい、雪の氷ノ山に逝った兵庫労山の仲間の慰霊を通じて、事故のない安全登山を考える機会にしたいとの思いからである。

今年は積雪量が多く雪解けが遅かったためか山ウドが少なかったが、何とか現地調達で山菜で野趣豊かな夕食を楽しめた。

氷ノ山は年々登山者が増えているようで若い人たちも多く、結構なことである。巖は最近あまり登られていないのか頂上側は笹のブッシュとなっていた。いつ登っても氷ノ山は良い山である。



1. ハチ高原の最奥部に到着。これからさあ山菜採りだ。しかし、雨が降ってきた



2. 急な斜面にウドは多いんだよ



3. 山菜採りを終え、氷ノ山国際スキー場に移動してテントを設営する



4. 遭難した淡路労山、南但山歩会5名の慰霊碑にお参りへとスキー場の斜面を登る



5. オオダニの慰霊碑では、線香を上げ、お花を献花して冥福を祈った



6. この時期、慰霊碑のある逆水にはニリンソウがいつも沢山咲いている



7. テント場に戻り、山菜の天ぷらなどで自然の恵みを楽しむ。



8. 今年はいつになく寒く、枯れ木を集めてかまどで燃やして暖をとった



9. 5/28 早朝氷ノ山登山開始 林道を親水公園まで歩き、ここから登山道へと入る



10. 登山口に立つ多田ケルン(氷ノ山の自然を守る運動の象徴であった多田繁次さんの功績をたたえる碑である。)



11. 布滝



12. 不動滝を望む場所に立つお地藏様



13. 7種類の樹木が絡まった連樹



14. 地藏堂の先にあったという木地屋の跡



15. 氷ノ山越めざして岩と根がからむ登山道を行く



16. 甌(こしき)岩手前からは岩を乗越すところが多い



17. 氷ノ山頂上に到着 登山者がいっぱいいる。そして、若者も結構多い



18. 大段平(オオダンガナル)組と頂上で合流して集合写真をパチリ



19. 古千本にある古生沼 (古生沼の自然を守る方々が作業に来ていて、沼の説明をしてくれた)



20. まだ咲いていたムシカリ(別名オオカミキ)の白い花



21. 神大フütteに到着 ここで大段平組と分かれる



22. 人面岩 どこが人面なのか?よく分からん



23. ツツジ群落を通過する 花は咲いてなかった



24. 小さくて可愛い東尾根避難小屋に到着



25. 登山口へと階段道を下る



26. クルマバソウがひっそりと咲いていた
今年は山野草の花が少なかった



27. 東尾根登山口に無事下山
(この石の標識は氷ノ山遭難事故後に淡路
と南但のメンバーが設置したもの)